

導入事例



業種

医療

メリット

セキュリティの強化

優れたユーザーエクスペリエンス

アカウントログインの時間短縮

プロトコル

FIDO U2F

製品

セキュリティキーNFC

導入詳細

医療スタッフ

病院および自宅への訪問

Adapta、YubiKeyで医療従事者のGoogle Cloudへのアクセスを保護

医師、看護師、その他の医療従事者のための高速でセキュアなフィッシング耐性をもつ二要素認証

医療従事者の働き方を改善するというミッション

Adaptaはオランダを拠点とするITサービスと事業開発の企業で、特に高齢者や障害者のケアに重点を置いた医療機関向けのエンタープライズアーキテクチャの導入と保守を専門としています。同社のミッションは、医療従事者のワークライフをより容易的でかつ楽しいものにすることです。

マティアス・ファン・アルフェンはAdaptaの創設者兼CEOであり、クライアントに革新的なソリューションを提供することに尽力しています。「会社を設立する前は、医療部門に就職し、高齢者介護施設で働いていました。私は常に、医療従事者が可能な限り最高の仕事ができる環境づくりに奔走していました。我々のミッションに貢献するスマートなツールを求めています。そして、存在しないものは自分たちで作ります」

Adaptaは、マーケットでは最適なソリューションを導入することを目指しています。「すべてを自社でまかなうことはできません」とファン・アルフェンは言います。「そのため、Google Cloudのような先進的なプラットフォームや、業界をリードするセキュリティ製品やサービスを迅速に導入するエキスパートであるSecurAbilityのような戦略的パートナーとも協力しています」

セキュリティとプライバシーの強化は、必ずしもユーザーエクスペリエンスの低下に繋がるわけではありません。

医療分野では、患者データのセキュリティが重要であるため、デジタルトランスフォーメーションはセキュアバイデザインでなければなりません。「私は常にプライバシーとセキュリティに関心を持っていました」とファン・アルフェンは言います。「プライベートでもそうしてきたし、仕事でも重要視します。セキュリティの世界では、次のような古い格言があります：『安全性が高いほど、使いやすさが低下する』。私たちはこの常識に挑戦します」

医療現場に導入する多要素認証 (MFA) ソリューションをAdaptaが探し始めた当時、一般的なMFAソリューションには適切なものがありませんでした。「組織が選択する最も一般的な方法は、認証アプリです。しかし、介護施設では、スタッフは携帯電話ではなく、ノートパソコンやタブレットのようなものを必要としています。アプリからコードを使ってログインする、またはプロンプトをクリックしてログインする必要がある場合、始める前に2つのデバイスが必要になります」。

ファン・アルフェンは次のように述べます。「この方法は、多くの組織にとって煩雑さをもたらします。すべてのスタッフに2台目のデバイスを持たせるか、個人用デバイスにインストール

セキュリティの世界では、次のような古い格言があります：『安全性が高いほど、使いやすさが低下する』。私たちはこの常識に挑戦します」



マティアス・ファン・アルフェン
Adapta創業者兼CEO



したアプリを使って認証を許可する必要があります。また、『個人デバイスに仕事用のアプリは入れたくない』という人も増えています。個人デバイスを仕事に使用しない権利を要求する声はトレンド化しつつあり、例えば、障害者介護の労働協約にそのことが明記されることが増えています」

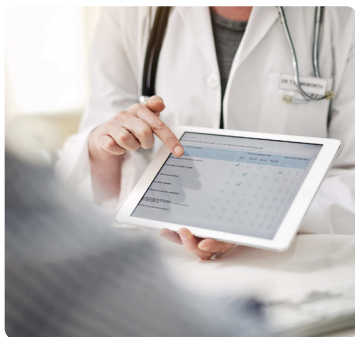
「医療従事者はオフィス以外の場所で働くことが大半です。老人介護施設や障害者介護施設で働く人は、コンピューターの画面に向かって座っているよりも、人の世話をすることを選んだのですから。何かを探したり、メモしたり、注文したりといったことを1日に4～5回は行うような場合、より素早くログインできるようにしたいものです」

YubiKeyを使用すれば、フィッシング攻撃を阻止し、医療従事者が患者記録に迅速かつ安全にアクセス可能

AdaptaがYubicoの提供する最新のフィッシング耐性二要素認証であるYubiKeyに辿り着くのにそう時間はかかりませんでした。YubiKeyはアカウント乗っ取りを阻止し、悪意のある行為者が医療従事者の資格情報を盗むのを防ぎます。「私たちの経験では、YubiKeyは最も使いやすく、安全で、手頃な多要素認証方法です。ユーザーはパスワードを1つと、玄関の鍵と同様に機能する物理的なキーを1つ所有します。出勤時にキーホルダーにつけておき、デバイスに差し込めばログインできます」

YubiKeyは、現代のサイバー攻撃を阻止することが証明された唯一のハードウェアMFA方式ですが、鉄壁のセキュリティを持つ一方、使いやすさと効率性にも優れています。Adaptaは、YubiKeyによってユーザーが重要な情報にはるかに速くアクセスできることを発見しました。ファン・アルフェンは、介護施設の介護士が報告書を書いたり、クライアントに関するデータを検索したりするために、1日に何度もログインしなければならない例を挙げています。「ログインに30秒も40秒もかかるようでは、フラストレーションの元です。これは、他のすべての二要素認証方法にも当てはまります。Authenticatorアプリでコードを入力したり、テキストメッセージからのプロンプトを待ったりするには時間がかかります。しかし、Google Cloud ChromeOSにパスワードとYubiKeyを組み合わせれば、ログイン時間も含めて8秒から10秒程度で、実際にデバイスにアクセスしてクライアントのファイルに直接アクセスできます。これは、医療従事者の日々の活動に大きな違いをもたらしています」

私たちの経験では、YubiKeyは最も使いやすく、安全で、手頃な多要素認証方法です」



パスワードのリスク露出を減らす

多くの医療従事者にとって、パスワードはフラストレーションの原因となっています。「医療機関でよくある方針に、四半期ごとにパスワードを変更する必要があるというものがあります。「この方法も安全とは言えません。ユーザーは通常、連番などを思い浮かべるからです。あなたがその並びを思いつくならば、ハッカーにも可能です」YubiKeyは、パスワードによるリスクを大幅に軽減させます。なぜなら、ユーザーのメールアドレスとパスワードが盗まれたり、フィッシング被害に遭ったりしても、ハッカーがログインするには物理的なYubiKeyが必要になるからです。ハッカーはYubiKeyにアクセスできないため、アカウントの乗っ取りを防げます。

YubiKeyはまた、IT管理者の時間を節約します。ファン・アルフェンはYubiKeyの管理しやすさについてこう述べています。「Authenticatorアプリの配布、保守、バージョン管理を確実に行っておけば、後は出勤した人にIDとアカウントを渡して、YubiKeyとリンクさせればそれで完了です」

YubiKeyを使ったフィッシング耐性二要素認証の実例

Adaptaは最近、オランダの2つの介護施設、Zorgcentra De BetuweとBrabantZorgにYubiKeyを導入しました。これらの組織は、老人ホームや短期介護施設を運営し、患者の自宅を訪問しています。これらの企業のスタッフには、経営陣、サポートチーム、医師、開業医、看護師だけでなく、多くのボランティアも含まれているため、役割に関係なくセキュリティとスピードはもちろん、使いやすいソリューションを見つけることが不可欠でした。

Adaptaは、FIDO U2FとFIDO2/passkeyプロトコルをサポートするYubico [Security Key](#)を選び、新しく実装されたGoogle Cloudアーキテクチャを完璧に補完しました。BrabantZorgでは、YubiKeyにより6500人のユーザーのケア記録へのアクセスを保護しています。

「特筆すべきは、YubiKeyの実装が非常に簡単だったことです」とファン・アルフェンは言います。その理由の1つは、ユーザーに『城に入る1つのキー』を与えたからです。つまり、異なるパスワードや異なる資格情報を持つ代わりに、1つのキーだけを支給したのです。バックエンドでYubiKeyをリンクする処理が行われますが、ユーザー自身は何もする必要はありません。そのため、ユーザーの受け入れを促進するために、運営委員会や作業グループは必要ありません」

Zorgcentra De BetuweはYubiKeyを約1100人のユーザー（主に医療スタッフと介護者）に導入しました。切り替えは一晩で行われたため、スタッフ向けの説明ビデオも準備されました。ファン・アルフェンは言います。「約150人の新入社員は、初日にYubiKeyと資格情報を渡され、すぐに最初の患者を見ることができました」



医療従事者の時間を取り戻す

導入の結果は明らかで、従業員の満足度が向上しました。Zorgcentra de BetuweとBrabantZorgの両方において、YubiKeyは全体的なセキュリティを向上させながらも、より良いユーザーエクスペリエンスを実現しました。「スピードは重要な言葉です」とファン・アルフェンは言います。「YubiKeyを使うことで、ログインプロセスをスピードアップすることができました。その分、医療従事者はクライアントのケアに時間をかけることができます」

Adaptaでは、ユーザーがYubiKeyを紛失する心配はありません。ファン・アルフェンはこう述べます。「時にはキーを忘れて来る人もいますでしょう。」「Google Cloudでは、ITサポートにワンタイムコードを生成させて、とにかくログインできるようにできます。キーの紛失を恐れている人もいました。そのようなときは必ずこう尋ねます。「あなたはどのくらいの頻度で鍵を忘れますか？」

YubiKeyを使うことで、40秒以上かかっていたログインプロセスを10秒以内に短縮することができました。その分、医療従事者はクライアントのケアに時間をかけることができます」



YubiKeyとGoogle Cloud は理想的な組み合わせ です」

ユーザーはYubiKeyについて、その基盤となる技術を必ずしも理解しなくても、肯定的な反応を示しています。「BrabantZorgでは、すべてのパスワードを保存する『スティック』にどれほど満足しているかを話してくれた従業員が何人もいました。YubiKeyにパスワードが保存されるというアイデアは、セキュリティ業界の人間にとっては不愉快な話でも、介護士や看護師にとっては素晴らしいユーザーエクスペリエンスでした」YubiKeyは、フィッシングの危険性が高いパスワードの保存は行わず、その代わりにキーから流出することのない暗号化された秘密を保存しています。このような高レベルのセキュリティを確保しながらもユーザーからの好意的な反応があることは、セキュリティ対策が直感的で快適なユーザーエクスペリエンスの障害にはならないことを証明しています。

パスワードレスへの道を開く

Adaptaにとって、よりユーザーフレンドリーな認証の機会は無限にあります。「YubiKeyとGoogle Cloudは理想的な組み合わせです」とファン・アルフェンは言います。「未来は『パスワードレス』になり、FIDO2によってパスワードのない職場を提供できるようになります。介護士や看護師から見て、GoogleとYubiKeyの強力な組み合わせを一言で表すなら「スピード」です」ファン・アルフェンは、YubiKeyを建物への出入りや書類の印刷など、複数の目的で使用できるようにすることで、将来的にはさらに時間を節約できるようになると期待しています。



よりスムーズなデジタルエクスペリエンスを提供することは、スタッフの採用と定着にとっても重要性を増すでしょう。「医療従事者は働きたい場所を選ぶことができます」とファン・アルフェンは言います。「そのため、彼らは設備が整った組織を選びます。それはデジタル環境でも同様です。私たちの知る限り、Google CloudとYubicoはこの点でリーダーです」ファン・アルフェンによれば、AdaptaとYubicoのパートナーシップは価値観にも関わっています。「私たちの使命は、医療従事者の労働生活をより快適で簡単にして、全般的に改善することです。Yubicoの使命は、インターネットをより安全で誰もが使いやすいものにすることです。そこに向けて、私たちは非常にうまく連携しています」



詳細はこちら

yubi.co/customers-ja

yubi.co/healthcare

yubico

Yubico (Nasdaq Stockholm : YUBICO) は、最高水準の対フィッシング多要素認証 (MFA) であるYubiKeyの発明者です。Yubicoは、160カ国以上のお客様に、最高水準の確実なパスキーを使ったハードウェアベースのパスワードレス認証を提供するパイオニアです。詳細については、www.yubico.comをご覧ください。

© 2025 Yubico